

WE'RE FOR CREATORS™

2021年12月期 第1四半期 決算補足説明資料

2021年5月13日

zoom®

株式会社ズーム

(ご注意) 本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

対前年同期比で増収増益

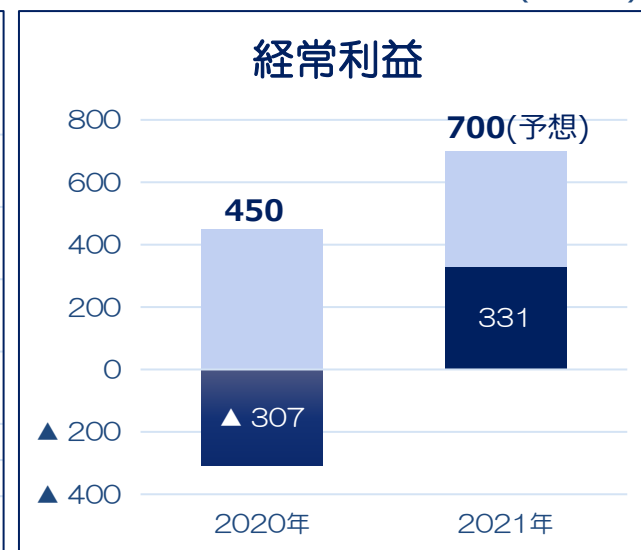
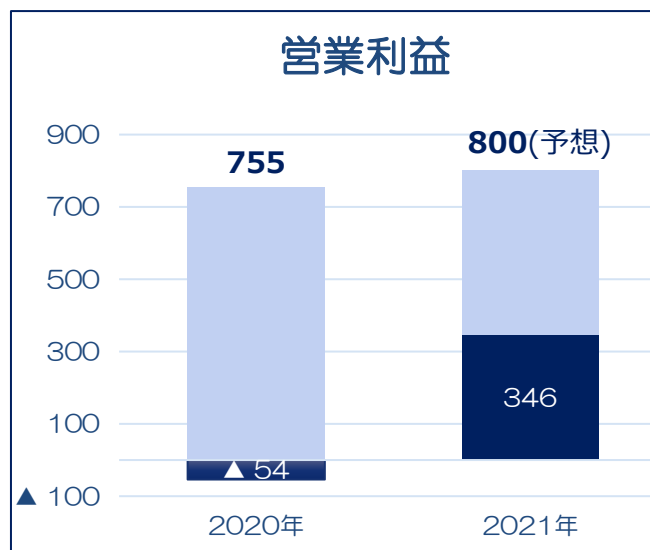
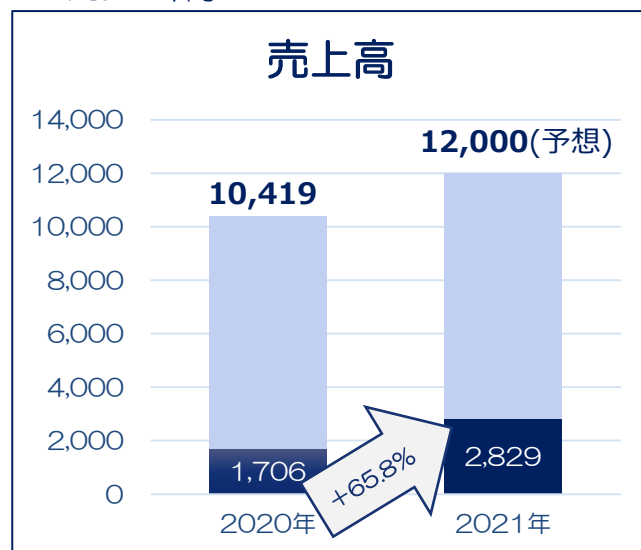
2021年第1四半期連結業績

売上高	:	2,829百万円	(前年同期比 +1,122百万円)
営業利益	:	346百万円	(前年同期比 +400百万円)
経常利益	:	331百万円	(前年同期比 +638百万円)

- ・ステイホーム需要及びZOOM North America, LLC (以下、ZNA) の子会社化により増収増益
- ・1Q(3ヵ月)は、対前年では売上高11億円増加、営業利益4億円増加、経常利益6億円増加

■ 1Q ■ 年間

(百万円)



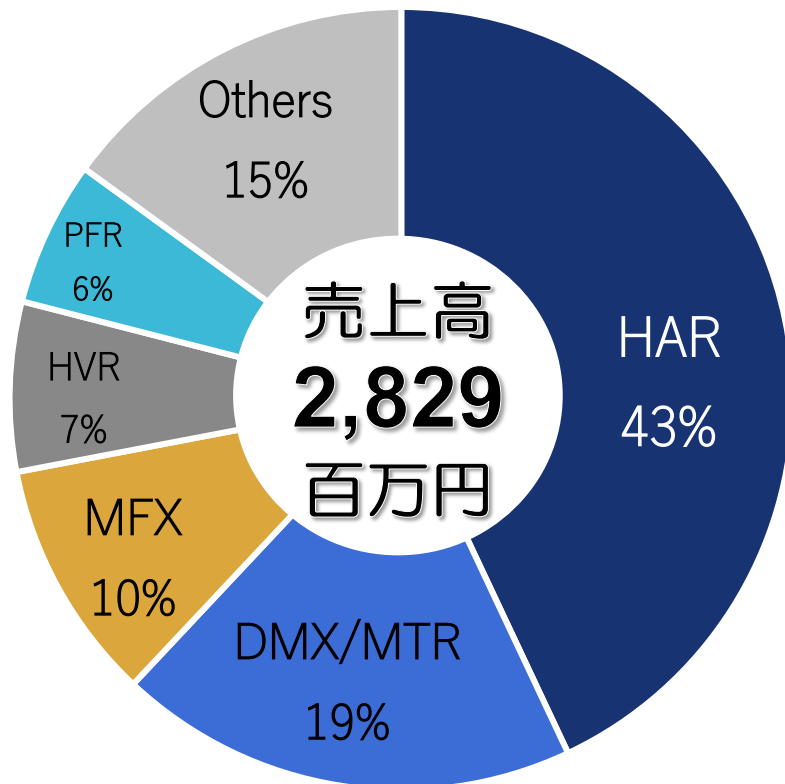
2021年12月期 第1四半期 連結損益計算書（要約）



(百万円)

	2020.12期 第1Q実績	2021.12期 第1Q実績	増減額	摘要
売上高	1,706	2,829	1,122	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での使用に適した楽器や関連機器の販売が、ステイホーム需要により堅調に推移したことにより増加 ・2020年4月1日からZNAを子会社化したことで増加 ・2020年10月に発生したサプライヤー工場火災への対応は順調に進んでいる
営業利益 (売上高営業利益率)	▲54 (▲3.2%)	346 (12.2%)	400	同上
経常利益 (売上高経常利益率)	▲307 (▲18.0%)	331 (11.7%)	638	<ul style="list-style-type: none"> ・同上 ・前年同期は、ZOOM UK Distribution LTD（以下、ZUK）による倒産法に基づくアドミニストレーションの申請により、持分法による投資損失240百万円を計上
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	▲218 (▲12.8%)	201 (7.1%)	420	
EBITDA	▲251	446	697	EBITDA=営業利益+※減価償却費+持分法投資損益
減価償却費 研究開発費 為替差損益	※46 241 ▲2	※99 264 ▲3	53 23 ▲1	※のれん償却額44百万円（前年同期4百万円）を含む
平均為替レート（円/米ドル）	108.9円	105.8円	▲3.1円	

製品カテゴリー別売上高



カテゴリー名称

HAR : Handy Audio Recorder

HVR : Handy Video Recorder

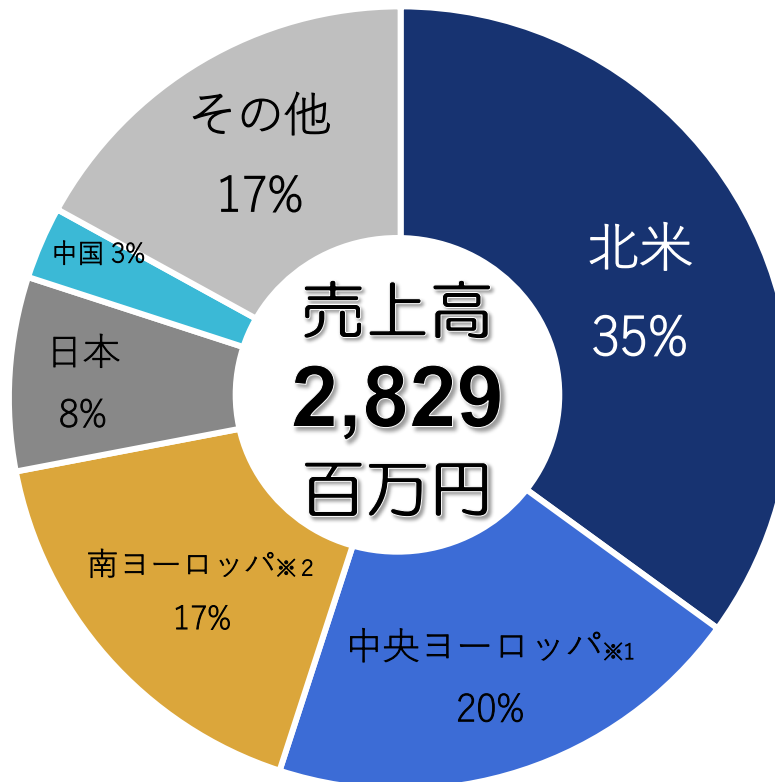
DMX : Digital Mixer /
Multi Track Recorder

PFR : Professional Field Recorder

MFX : Multi Effector

Others : Mogar取扱いブランド/その他

地域別売上高



※1. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

※2. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

ZNAを連結子会社化したこと及びステイホーム需要により関連機器の販売が堅調

(百万円)

	2020.12期 第1Q実績	2021.12期 第1Q実績	増減額	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	693	1,203	510	<ul style="list-style-type: none"> 前年下期発売H8の新製品効果、H5の販売が好調 サプライヤー工場火災対応が順調に進み、委託先工場での生産には大きな影響無し 前年同期は、中国の関係工場の稼働率が低下したことにより販売数量が減少
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	206	540	334	ポットキャスト収録に適したP4及びP8、ライブストリーミングやレコーディング用途としてのLシリーズの販売が好調
マルチエフェクター (MFX)	208	288	80	<ul style="list-style-type: none"> G1 Fourシリーズの販売が好調 前年同期までMFXカテゴリーに集計していたV3及びV6は別カテゴリー（その他）へ
ハンディビデオレコーダー (HVR)	101	188	87	新型コロナウイルス感染拡大によりWeb会議やオンラインレッスン目的等での需要が増加
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	136	179	43	主としてZNAを連結子会社としたことにより増加
Mogar取扱いブランド※	219	162	▲57	前年同期に、星野楽器(株)との販売代理店契約終了に伴う同社ブランド製品の最終販売があったことの影響
その他	141	265	124	<ul style="list-style-type: none"> 前年下期発売Androidデバイス用のステレオマイクAm7の新製品効果 前年下期発売ZDM-1PMP（ポッドキャスト用マイクパック）の新製品効果
合計	1,706	2,829	1,122	

※子会社であるMogar Music S.r.l.が販売するZOOM以外のブランド

ステイホーム需要により（加えて北米はZNAの子会社化により）売上高が大幅増

(百万円)

	2020.12期 第1Q実績	2021.12期 第1Q実績	増減額	売上高の増減要因
北 米	425	999	574	<ul style="list-style-type: none"> ・ZNAの子会社化による売上増 ・ステイホーム需要により特に下記の製品の販売が好調 <ul style="list-style-type: none"> - 前年下期発売H8 - ポッドキャスト配信用製品（P4、P8） - Webカメラ目的等によりHVRカテゴリー製品
中央ヨーロッパ※1	292	555	262	<ul style="list-style-type: none"> ・ステイホーム需要によりDMX/MTRカテゴリー製品等が好調 ・イギリス向けは前年同期ZUKの倒産法申請による売上減の反動増
南ヨーロッパ※2	423	472	49	イタリア向けは前年同期の星野楽器(株)ブランド製品の最終販売による反動減の影響があったが、ステイホーム需要における販売増（特にAmazon等のオンライン経由での販売）がカバー
日 本	186	239	53	<ul style="list-style-type: none"> ・HARカテゴリーのオンライン販売が好調 ・L-8やQ2n-4Kはライブ配信用として好評であり販売が増加
中 国	53	81	28	<ul style="list-style-type: none"> ・HARカテゴリー製品の販売が好調 ・SNSでのオンライン配信用としてL-8、P4が好評により販売が増加
オーストラリア	34	41	7	
U.A.E.	21	39	18	
スウェーデン	26	38	12	
その他	243	360	116	韓国+26、台湾+21、ロシア+20
合計	1,706	2,829	1,122	

※1. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

※2. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

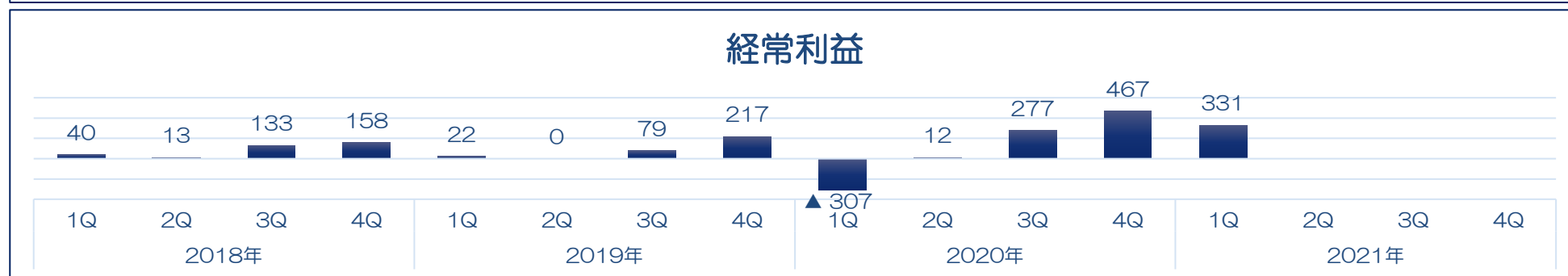
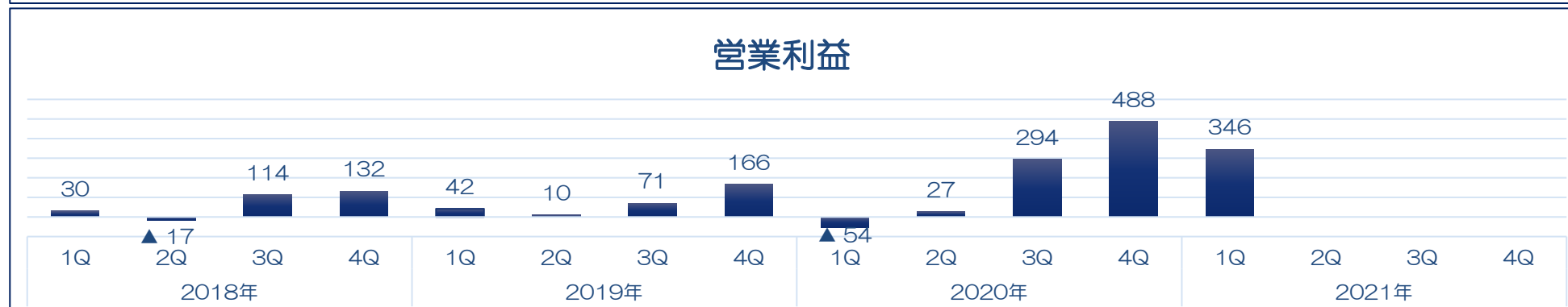
2021年12月期 第1四半期 連結貸借対照表 (要約)



(百万円)

	20.12期末	21.12期 第1Q末	増減額	増減要因
流動資産	7,661	7,798	136	
現預金	2,731	2,916	185	短期借入金の増加等により増加
売掛金	1,658	1,683	24	
商品及び製品	2,516	2,520	3	
固定資産	2,536	2,718	182	
有形固定資産	526	503	▲23	
無形固定資産	1,393	1,570	176	(株)フックアップの子会社化に伴いのれんが180千円増加
投資その他の資産	616	645	29	
資産合計	10,198	10,516	318	
流動負債	3,883	4,304	420	
買掛金	1,133	905	▲228	12月末は旧正月前の在庫確保による仕入が増加する傾向
短期借入金	1,601	2,195	594	運転資金の調達等により増加
固定負債	1,177	1,208	30	
負債合計	5,061	5,513	451	
資本金	212	212	—	
純資産合計	5,136	5,003	▲132	主に自己株式の取得による増加
負債純資産合計	10,198	10,516	▲318	

(百万円)



売上及び利益は下期に増加する傾向であるが、当期においてはコロナ禍のもと不確実性が高い

増収増益を予想（2021年2月15日に公表した連結業績予想から変更なし）

- 連結子会社化したZNAの業績が通年で寄与し、ステイホーム需要が当面継続すると見込むが、コロナ禍のもと下期以降の業績は不確実性が高い
- ZUK関連損失2.4億円の影響無くなるが、サプライヤ工場火災対応（2020年10月公表）の費用が約3億円発生すると見込む

(百万円)

	20.12期 実績	21.12期				
		予想	増減額	増減率	1Q実績	達成率
売上高	10,419	12,000	+1,580	+15.2%	2,829	24%
営業利益	755	800	+44	+5.9%	346	43%
経常利益	450	700	+249	+55.2%	331	47%
親会社株主に帰属する当期純利益	502	500	▲2	▲0.6%	201	40%
EBITDA	823	1,200	+376	+45.7%	446	37%

一株当たり当期純利益	223.57円	223.25円	▲0.32円	▲0.1%
一株配当	62円	67円	+5円	+8.1%
配当性向	27.7%	30.0%	—	—
為替レート（円／米ドル）	106.8円	102.0円	—	—

為替感応度（為替相場の変動が年間利益に与える影響）：1円の円高（円安）で営業利益が約28百万円減少（増加）

2021年12月期 連結カテゴリー別売上予想



(百万円)

	20.12期 実績	21.12期				
		予想	増減額	増減率	1Q実績	達成率
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	4,496	4,160	▲336	▲7.5%	1,203	29%
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	1,371	2,127	+756	+55.2%	540	25%
マルチエフェクター ※1 (MFX)	1,118	1,205	+87	+7.8%	288	27%
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	680	710	+30	+4.5%	179	25%
ハンディビデオレコーダー (HVR)	1,028	609	▲418	▲40.7%	188	31%
その他 ※1	1,032	1,073	+40	+4.0%	265	22%
Mogar取扱いブランド	691	689	▲2	▲0.4%	162	24%
フックアップ取扱いブランド	—	1,423	+1,423	—	—	—
合計	10,419	12,000	+1,580	+15.2%	2,829	24%

※1. 前連結会計年度までマルチエフェクターに含めて開示していた当社のボーカル用エフェクトプロセッサ（V3及びV6）については、別カテゴリー（その他）に組み替えております。

第3次中期経営計画の基本方針

1

業績目標を連結売上高150億円、
連結営業利益12億円とする

2

経営理念を「品質から品格へ、さらに知足へ」とする

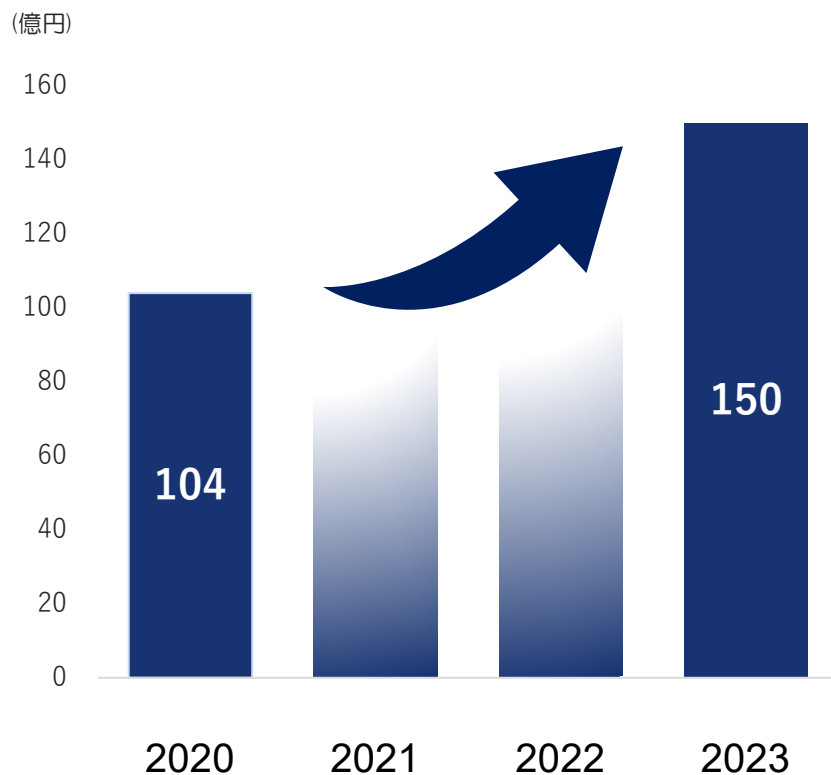
3

全ての利害共有者に適正な利益配分をする会社になる

業績目標

2023年 連結売上高 150億円

- 最終年度である2023年に連結売上高150億円を目標(2020年実績は104億円)



2023年 連結営業利益 12億円

- 最終年度である2023年に連結営業利益12億円を目標(2020年実績は7.5億円)
- 利益率改善により営業利益率は8%を目標

